

やるしかない！ ゼロから始める学年経営

島本政志

今年度、初めて学年主任をすることになった。今まで一緒に組ませていただいた先生は、どなたも優れた先生たちばかりだった。

そんな方たちと一緒に仕事をしてきたので、正直言って学年主任としての仕事は務まるか不安がある。だが、やるしかない。

1. サポート

初めて担任される先生と一緒に組んでいる。その先生が「担任をして幸せだった」と思うような一年にしたい。

具体的にはどうするか。まずは担任の仕事の見通しを持ってもらうことだと考えた。とりあえず、どんな行事があつて、1年が終わるのかを知ってもらおうと考えた。

4. 2年生の年間行事計画

学年だより	行事	留意点
4月 基本	9日(月) 学年開き・学級開き 10日(火) 離任式 12日(木) 1年生を迎える会 13日(水) 学級写真 17日(火) 学カテスト 23日(月) 参観 懇談 賞状委員選出 24日～ 27日 涼庭訪問	最初の三日を大切に使う。 萎める子を見つける。 担任の面壁基準をクラスに伝える。
5月 基本	運動会練習スタート 5月11日(金) 参観・PTA総会 6月2日(日) 運動会 千歳日 5日(月)	
6月 基本	20日(水) ? プール開き 校内研 遠足	*スイミー?
7月 基本 夏休みのしおり 基本	・個人懇談会(2日～6日) ・評価・通知表づくり ・7月13日(金) プール参観 ・学習支援(補習) 夏休みプール ・7月20日(金) 終業式	

まず1年間の大まかな流れを書きだして、話をする。イメージを掴んでもらうのである。

この作業は自分にとっても良かった。どんな行事があるのかを把握することができたからである。どんな行事がいつあるのかを知ることが準備できる。

私が失敗しやすいのは、忙しくなり、行事が近づいていることを忘れてしまい、直前になって慌て対応することが多かった。

現在は1か月先の行事まで把握し、4月末まではとりあえずの授業予定を立てている。

2. 資料

6年生に対しても、2年生に対しても同じような学級での対応をしてはいけない。ではどうするか。久保先生が出している本で、どうとでも各学年の特徴を把握すると良い。

同僚の若い先生にも資料を渡した。小学校の教師は1年から6年までという、非常に発達幅の広い子どもたちを教

育する。教科指導の前提として「発達」について知っておくことは専門家として必要不可欠である。

後はこのリストをどの日のどの時間に検討していくのかを割り振っていく。

例えば、「はんこ分けは火曜日の朝」とい

う 木曜日午前10時〜11時

新年度に備えておくこと

- 各クラス名簿 (教頭先生に提出) → 8月
- 2年生全員の名簿作成 (進級おめでとう) → 始業式の日に配布 → 8月
- はんこを分ける
- 指導要録を分ける
- 保健関係を分ける
- 予算案作成 → 昨年のを参考に
- 時刻表作成
- 校務分掌確認
- 図書を借りに行く 4/9(木)
- 特別な配慮のいる子への対応 サポートを含めて確認。授業に行く時間も確認
- 1年間の流れ確認
- 1年間でどんな子を育てていくのかの方針を話し合う (学級単位・一人ずつ) ↓
- 方針から学年目標を決める 説明も必要*教育計画に入れるため
- 遠足日程 確認 電話
- 学年目標の掲示物作成
- 学年通信の名前
- 学級通信どうするか
- 教室の机 椅子 サイズ 確認
- 特別教室の確認
- 下足やロッカーへの番号シールはり / 机への名前は
- 教師用教科書 ラジカセ 教具などを教室へ
- 教材選定 ネット選び購入 (研究推進から指定が出る?)
- 年間計画 (校務分掌や教科担任などを打ち合わせ)
- 健康カード 出席簿に氏名印をおす
- 1年生での目標 (図工?) のような掲示物 検討 作成
- 給食当番システム どうするか?
- 給食当番システム 掲示物 検討 作成
- 掃除当番システム 掲示物 検討 作成 *掃除場所確認 *掃除方法は文化部より研修あり
- 日朝の会 月-火 水 木 金 について確認 *朝の遊びを認めるか認めないか
- 日終わりの会 どうするか
- 日雨の日の遊び方
- 宿題の内容/量/出し方/チェック方法
- 学力テスト対策は?
- 算数分割あり? → なし 自分のクラスを見る
- 学年開きの内容を検討 確認 役割分担も
- 運動会の取組 集団演技 () 個人競技 ()

4/3(水) 3/12(水) 2/27(水)

4/9(木) 1/15(水)

4/10(金) 3/27(水)

4/11(土) 3/28(木)

勤務校はチーム学校としての方向性や実際の指導について綿密にそろえて指導する。

学校教育目標ができた経緯から電話対応まで教育計画を読み合わせをする。

る。

これらのことにより組織として同じ方向を向くことができる。メリットも多いのだが、一方で学級の準備にかけられる時間が少なくなるのも実際のところである。

だから、学級準備ができるように時間を確保することが私の役目である。リストアップしたあと、何日のいつにそれを検討するかを提示していく。

3. 笑顔

「あの、いいでしょうか?」と聞かれたら、笑顔で答えるようにしたい。

ただ、私はあまりいろんなことにすぐ即答できるタイプではないので、現在取り組んでいる仕事と異なることについて急に質問されたら、答えられないときがある。それで「ああ、ちゃんと答えられていない」と焦るのである。また集中力が切れてしまう感じがしている。それで、笑顔でない場面もあった。気をつけていきたい。まずは学年の中で話しやすい雰囲気をつくっていきたい。